

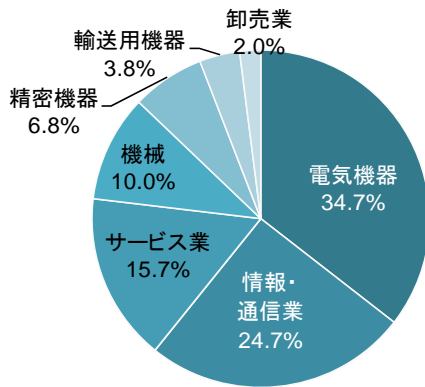
## ジャパン・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)/(年2回決算型)

### ポートフォリオの概要と 組入上位10銘柄のご紹介

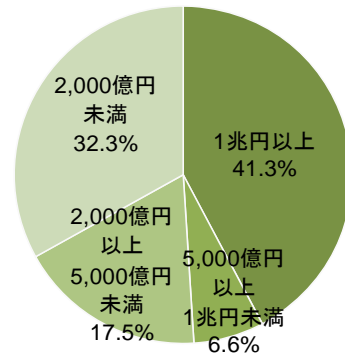
「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)／(年2回決算型)」は、2016年1月29日より運用を開始いたしました。当資料では、2016年2月29日現在のポートフォリオの概要をご報告するとともに、組入上位10銘柄をご紹介します。

### ポートフォリオの概要 (2016年2月29日現在)

業種別比率



時価総額別比率



### 組入上位10銘柄

(銘柄数 42銘柄)

順位	銘柄	業種	比率	順位	銘柄	業種	比率
1	キーエンス	電気機器	4.11%	6	日本セラミック	電気機器	2.83%
2	ハーモニック・ドライブ・システムズ	機械	3.15%	7	ソニー	電気機器	2.82%
3	シスメックス	電気機器	3.13%	8	SMC	機械	2.81%
4	クラリオン	電気機器	2.88%	9	オリンパス	精密機器	2.78%
5	ゼンリン	情報・通信業	2.84%	10	エヌ・ティ・ティ・データ	情報・通信業	2.74%

※ 上記はマザーファンドの状況であり、比率は純資産総額比です。各比率は「現金その他」があるため、合計が100%とならない場合があります。

※ 業種は東証33業種分類にて表示しています。

※ 「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入を保証するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)／(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## キーエンス

業種：電気機器 時価総額：約3.5兆円

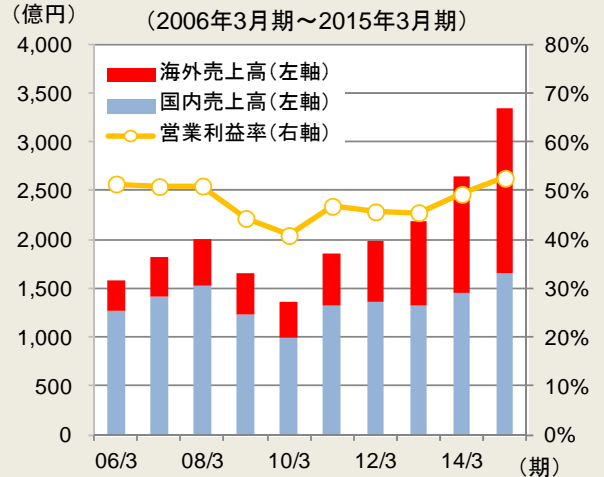
### 【ファンドマネージャーの着目ポイント】

FA(ファクトリーオートメーション)用センサー大手。ロボティクス事業の多くの場面で重要な役割を果たし、省人化や安全性向上などに寄与するセンサーを、差別化したコンサルティング営業で提供する。強固な営業力を持ち、海外展開の余地も大きく、安定成長が期待される。

### 圧倒的な営業力と海外ビジネス

同社はセンサーの「単品売り」ではなく、顧客へコンサルティングサービスを提供することで付加価値を創出しており、一般的な製造業を大きく上回る営業利益率を達成しています。また近年はFA化が加速する中国をはじめ、世界各国への海外展開を積極化させています。

### 【売上高と営業利益率の推移】



## ハーモニック・ドライブ・システムズ

業種：機械 時価総額：約2,415億円

### 【ファンドマネージャーの着目ポイント】

小型、軽量、高精度を特長とした小型ロボット用減速機\*メーカー。今後は、小型・省スペース化が進展する次世代生産設備や航空・宇宙関係、また、より高度な検査や医療技術が求められる医療機器や、実用化が近づいているサービスロボットなどへの用途拡大が期待される。

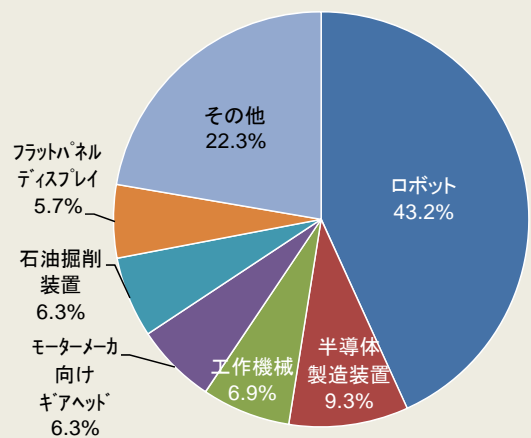
\* 歯車などを用い、回転速度を落とすことで、小さな力を大きな力に変換する部品。駆動部の制御装置として様々な機械で使用される。

### 協働ロボット向けの需要が期待される

小型・高精度な同社製品は、産業用ロボットの関節部分などで独占的なシェアを有しています。労働力の減少から、人との協働ロボット(Cobot)のニーズが今後世界で急拡大するとみられ、構成部品となる小型精密減速機の需要も急増する見込みです。

### 【用途別売上高(単体決算)】

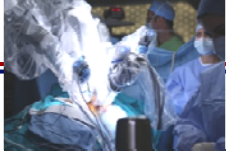
(2015年3月期)



各社決算資料などをもとに日興アセットマネジメントが作成 ※時価総額は2016年2月末時点

上記は、情報提供を目的として、2016年2月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## シスメックス

業種: 電気機器 時価総額: 約1.4兆円

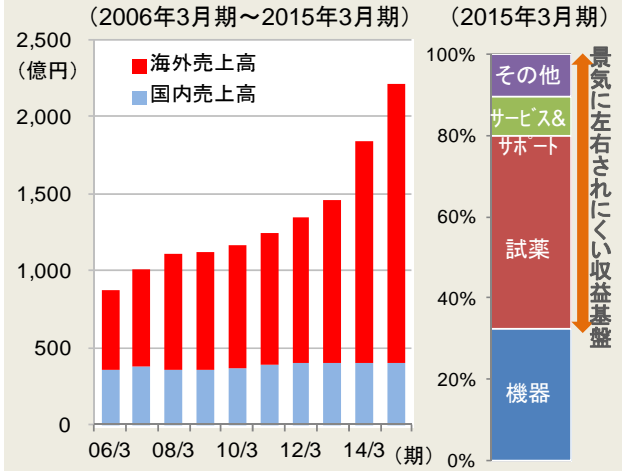
### 【ファンドマネージャーの着目ポイント】

血液や免疫などの検査機器分野において、多くの全自動装置を展開。同社と川崎重工業が50%ずつ出資するメディカロイド社は、産業用ロボット技術をベースとした医療用ロボットや、手術支援ロボットを開発中。製品化に向け、医療機関や専門技術を持つ企業など、各分野との連携を強化するための環境を構築し、販売体制を整えることが期待される。

### グローバルな収益力が強み

早くから積極的な海外展開を行っており、足元で約8割を占めるに至った海外売上高の伸びが、同社の業績を牽引しています。加えて景気変動の影響を受けにくい収益構造となっており、安定的な成長が期待できます。

### 【売上高の推移と品目別売上高構成比】



## クラリオン

業種: 電気機器 時価総額: 約1,026億円

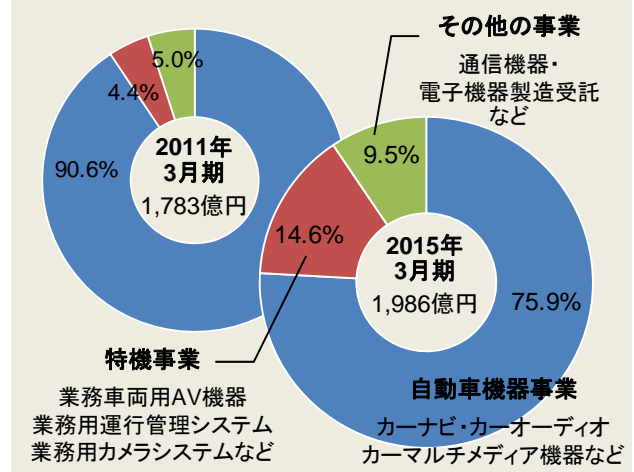
### 【ファンドマネージャーの着目ポイント】

安全運転支援システム「SurroundEye」を展開。同製品は、複数の車載カメラでドライバーの死角となる部分をモニターに映し出し、安全走行や駐車をサポートする。日産自動車の駐車支援システム「アラウンドビューモニター」に搭載されているほか、トラックや大型バスなどにも広く使用されている。

### 自動運転分野で存在感が高まる

カーナビの大手で、近年はグーグルの音声認識や検索技術を活用した自動車向け情報提供サービスでも注目されています。今後は自動駐車システムなどの開発が期待されるほか、同社の属する日立グループの各社との連携により、自動運転分野での事業拡大が見込まれます。

### 【項目別売上高の変遷】



各社決算資料などをもとに日興アセットマネジメントが作成 ※時価総額は2016年2月末時点

上記は、情報提供を目的として、2016年2月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## ゼンリン

業種: 情報・通信業 時価総額: 約696億円

### 【ファンドマネージャーの着目ポイント】

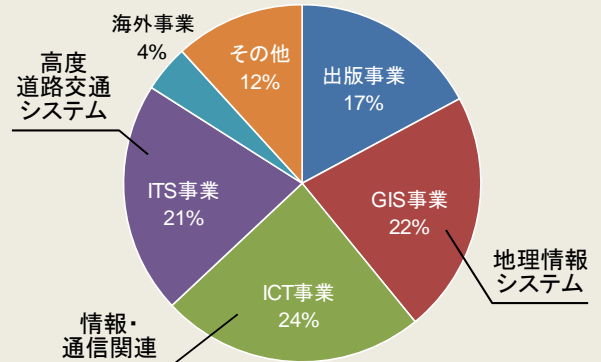
ADAS(自動車の先進運転支援システム)の進化を後押しする、高精度地図データの研究・開発を進める。レーザーやカメラ、GPS機能を持つ計測器を用い、ガードレールや信号機などの構造物を三次元でデータ収集し、運転支援用地図データの作成を行なう。

### 自動運転で注目される地図業界

自動運転車の開発やドローンの実証実験などが進むなか、地図作成技術にも注目が集まっています。同社の地図データはグーグルやヤフーなどの国内主要サイトで使用されているほか、世界各国の地理情報システムにもコンテンツを提供するなど、同社の存在感は世界的に高まっています。

### 【中期経営計画\*で区分した事業別売上高】

\* 2016年3月期～2020年3月期の中期経営計画  
(2015年3月期実績)



## 日本セラミック

業種: 電気機器 時価総額: 約490億円

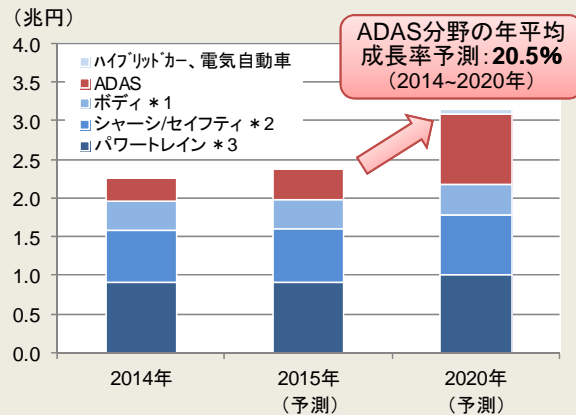
### 【ファンドマネージャーの着目ポイント】

赤外線センサーや超音波センサーに強みを持つ電子部品メーカー。衝突防止用の自動車向け超音波センサーが成長製品。今後は、センサー搭載車種の拡大が期待されるほか、自動駐車支援や自動走行などの性能が上がることで車1台当たりの搭載数量増加も見込めることから、自動運転に関連する分野での成長が期待される。

### 車載センサー市場の拡大が追い風に

同社は世界の赤外線センサー、超音波センサー市場において、高いシェアを有しています。足元拡大傾向にある車載センサー市場は、ADAS技術の進展に伴って今後急拡大すると見込まれ、自動車用センサーの販売増が期待されます。

### 【車載センサーの世界市場規模予測】



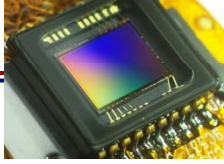
\* 1: ヘッドライトやエアコンなど、\* 2: 電動パワーステアリングやブレーキなど、\* 3: クラッチ、トランスミッションなど

出所: 矢野経済研究所「車載用センサの世界市場に関する調査結果2015」(2015年9月1日発表)をもとに日興アセットマネジメントが作成

各社決算資料などをもとに日興アセットマネジメントが作成 ※時価総額は2016年2月末時点

上記は、情報提供を目的として、2016年2月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



# ソニー

業種：電気機器 時価総額：約3.0兆円

## 【ファンドマネージャーの着目ポイント】

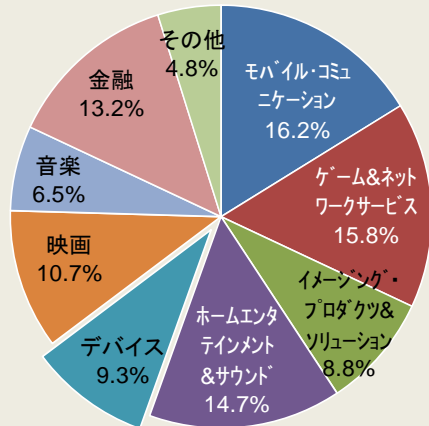
CMOS\*イメージセンサー市場において世界トップシェアを誇る。画像センサーは自動運転用に限らずロボティクス関連の各分野で需要拡大が期待される。また、ロボティクスや制御工学の応用とされるバーチャルリアリティ(仮想現実)の開発でも先行。アミューズメント、教育などの分野でも成長余力は大きいと考えられる。 \*映像を電気信号に変換する半導体

## バランスの取れた事業ポートフォリオ

同社は多角的に事業を展開していることから、分散された売上構成となっています。なかでも、成長分野であるデバイス分野においては、積極的にリソースを投入し、更なる競争力の強化を図っています。

## 【事業別売上高構成比】

(2015年3月期)



# SMC

業種：機械 時価総額：約1.7兆円

## 【ファンドマネージャーの着目ポイント】

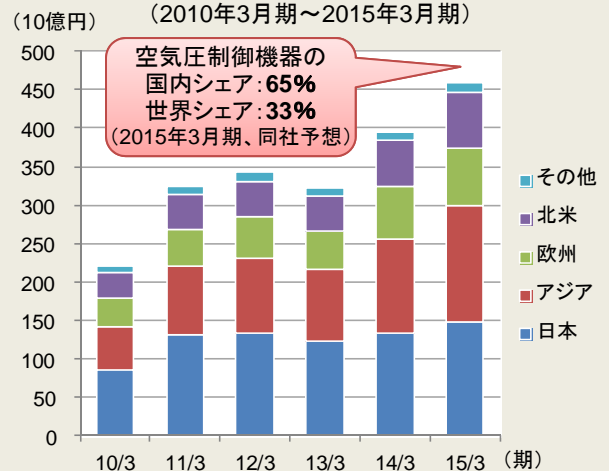
機械装置やロボット、生産ラインで使用される空気圧制御機器\*の最大手。また溶接、塗装、ハンドリング(運搬・位置決め)ロボットに装着する治具なども製造。戦略的な人員配置や、不況期における積極投資などにより、シェア上昇が続く。FA向け部品に強みを持つ。 \*圧縮空気を用いて動作を制御する部品

## 中国を足掛かりに世界シェア拡大へ

同社は、工場の自動生産設備に欠かせない空気圧制御機器で、世界トップクラスのシェアを誇ります。人件費が高騰する中国での自動化需要の高まりを受け、現地の営業人員を大幅に増やすなど、更なるシェアの拡大に向けた意欲的な取り組みを行なっています。

## 【地域別売上高の推移】

(2010年3月期～2015年3月期)



各社決算資料などをもとに日興アセットマネジメントが作成 ※時価総額は2016年2月末時点

上記は、情報提供を目的として、2016年2月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## オリンパス

業種: 精密機器 時価総額: 約1.4兆円

### 【ファンドマネージャーの着目ポイント】

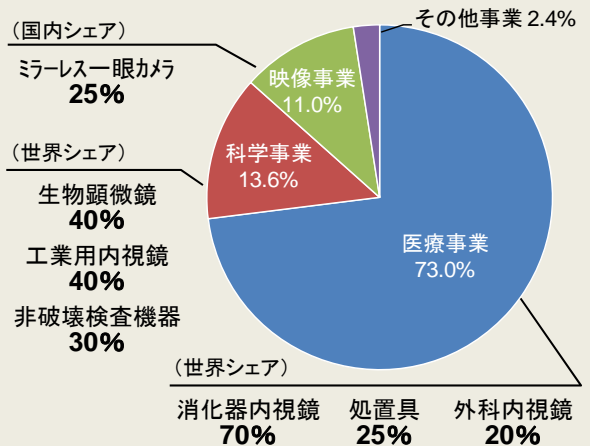
同社の最大の事業分野である医療事業では、早期診断や治療に貢献する消化器内視鏡、また低侵襲治療(患者の負担が少ない治療)に貢献する外科手術用内視鏡などの内視鏡製品、および周辺機器を提供し、医療現場をトータルにサポート。ロボット技術を用いて、低侵襲治療の更なる普及・発展に向けた機器を開発中。

### 医療機器のロボット化が成長分野

同社は消化器内視鏡の世界シェア7割を有しており、開発中のロボット手術支援機器においても高い優位性を発揮するとみられます。また、ソニーと共同で開発された、4K技術を用いた外科手術用内視鏡も、今後の成長事業として期待されます。

### 【事業別売上高構成比と各製品の市場シェア】

(2015年3月期、シェアは本社推定)



## エヌ・ティ・ティ・データ

業種: 情報・通信業 時価総額: 約1.5兆円

### 【ファンドマネージャーの着目ポイント】

大手システムインテグレーター。金融分野に強みがあるが、産業分野や海外への展開にも積極的。IoT\*1プラットフォーム「ANYSENSE」やM2M\*2を利用したインフラ管理・監視サービスを提供。既存ビジネスである顧客基盤やデータを活用したフィンテック\*3も有望。決済業務、老朽化インフラ対応、国家プロジェクトへの参画など、関連分野への関わりも多い。

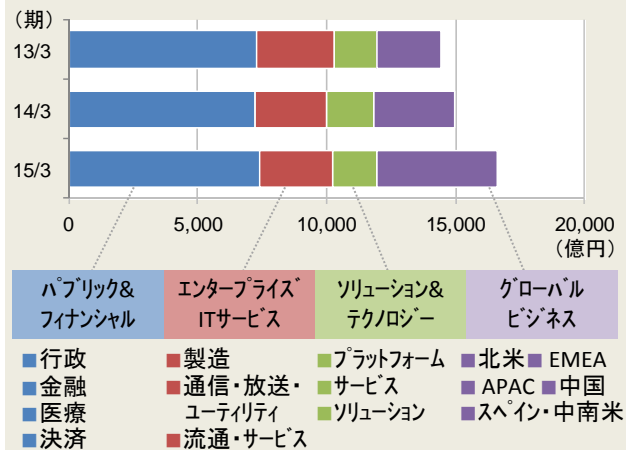
- \*1: モノのインターネット
- \*2: 機械と機械が通信し合い自律的に制御や動作を行なうこと
- \*3: IT(情報技術)を駆使した新たな金融サービス

### グローバルで多様なITサービスを提供

同社はNTTからの分社以降、26期連続で増収を達成しています。近年は海外における稼ぐ力を向上させるため、積極的なM&Aによって地理的なカバレッジを拡大しています。

### 【項目別売上高の推移】

(2013年3月期～2015年3月期)



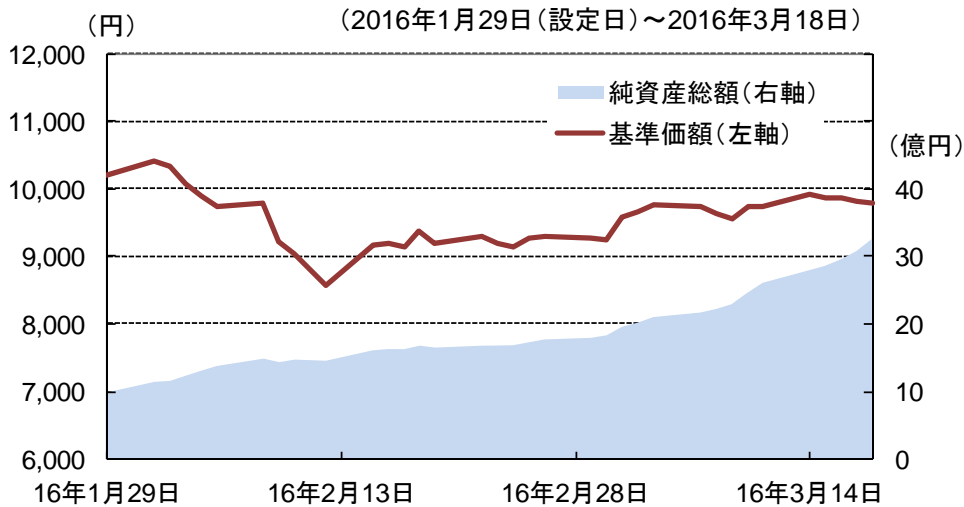
各社決算資料などをもとに日興アセットマネジメントが作成 ※時価総額は2016年2月末時点

上記は、情報提供を目的として、2016年2月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 基準価額と純資産総額の推移

### 1年決算型



(2016年3月18日現在)

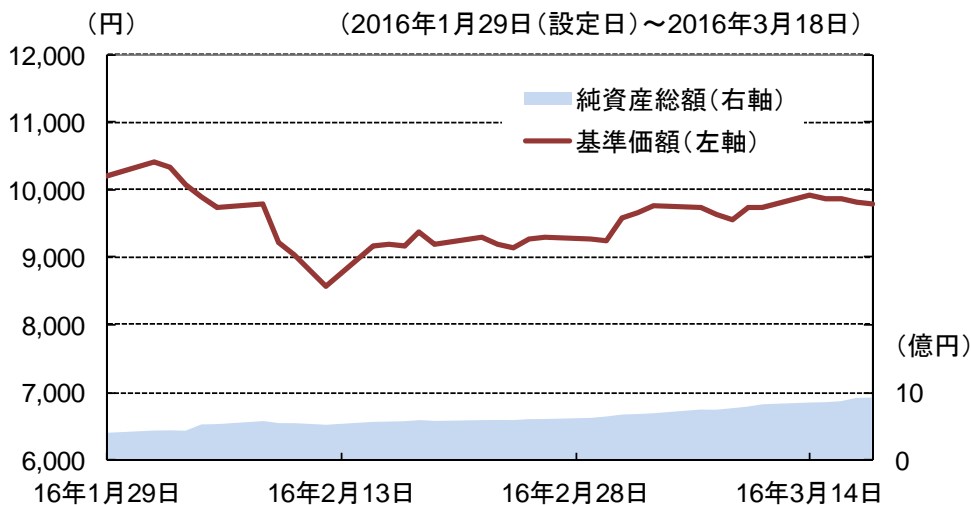
基準価額

9,785円

純資産総額

32.64億円

### 年2回決算型



(2016年3月18日現在)

基準価額

9,785円

純資産総額

9.26億円

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ファンドの特色

- 特色 1** 日本の株式の中から、主にロボティクス関連企業の株式に投資を行ないます。
- 特色 2** 銘柄選定は、日興アセットマネジメントが徹底した調査に基づいて行ないます。
- 特色 3** (1年決算型) 年1回、決算を行ないます。  
(年2回決算型) 年2回、決算を行ないます。基準価額水準が1万円(1万口当たり)を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※ 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

### ●リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。(詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ●その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## ●お申込メモ

商品分類	追加型投信／国内／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の基準価額
信託期間	2026年1月26日まで(2016年1月29日設定)
決算日	【1年決算型】毎年1月24日(休業日の場合は翌営業日) 【年2回決算型】毎年1月24日、7月24日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

## ●手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、 <u>3.24%(税抜3%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

※ 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。  
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率 <u>1.674%(税抜1.55%)</u> を乗じて得た額
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

●委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

●投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○		○
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○		
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第46号	○		○
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○		
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○		

ジャパン・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○		○
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○		
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○		

(資料作成日現在、50音順)